

Mizuho Daily Market Report

2023/7/31

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	139.75	141.16	+1.68	▲0.57
EUR	1.0950	1.1016	+0.0037	▲0.0108
AUD	0.6628	0.6650	▲0.0059	▲0.0079
SGD	1.3340	1.3316	+0.0001	+0.0009
CNY	7.1625	7.1485	▲0.0190	▲0.0391
MYR	4.5535	4.5550	+0.0312	▲0.0077
THB	34.55	34.08	+0.00	▲0.37
IDR	15105	15095	+95	+70
PHP	54.88	54.90	+0.34	+0.15
INR	82.31	82.26	+0.32	+0.30

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.951%	▲4.8 bp	+11.6 bp
日本(10年)	0.568%	+11.8 bp	+11.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.492%	+1.8 bp	+5.3 bp
オーストラリア(5年)	3.872%	+10.4 bp	▲2.3 bp
シンガポール(5年)	3.005%	+5.0 bp	+1.0 bp
中国(5年)	2.445%	+2.2 bp	+4.8 bp
マレーシア(5年)	3.595%	+2.6 bp	+2.1 bp
タイ(5年)	2.359%	+0.0 bp	+0.0 bp
インドネシア(5年)	6.005%	+4.7 bp	+9.3 bp
フィリピン(5年)	6.164%	+0.6 bp	+2.4 bp
インド(5年)	7.145%	+3.4 bp	+7.8 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	35,459.29	+0.5%	+0.7%
N225(日本)	32,759.23	▲0.4%	+1.4%
STOXX50(ユーロ圏)	4,466.50	+0.4%	+1.7%
ASX(オーストラリア)	4,195.17	▲0.1%	+0.3%
FTSEI(シンガポール)	3,371.17	+1.0%	+2.8%
SSEC(中国)	3,275.93	+1.8%	+3.4%
KLSE(マレーシア)	1,450.35	▲0.1%	+2.6%
SETI(タイ)	1,543.27	+0.0%	+0.9%
JKSE(インドネシア)	6,900.230	+0.1%	+0.3%
PSE(フィリピン)	6,625.26	▲0.8%	▲0.3%
SENSEX(インド)	66,160.20	▲0.2%	▲0.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	280.48	+0.1%	+1.4%
金	1,959.49	+0.7%	▲0.1%
原油(WTI)	80.58	+0.6%	+4.6%
銅	8,625.49	+1.1%	+2.4%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	140.00	-	141.50
EUR/USD	1.1000	-	1.1120
AUD/USD	0.6640	-	0.6760
USD/SGD	1.3220	-	1.3350
USD/CNY	7.1200	-	7.1800
USD/MYR	4.5200	-	4.5860
USD/THB	34.00	-	34.80
USD/IDR	14980	-	15120
USD/PHP	54.70	-	55.18
USD/INR	81.90	-	82.30

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は138円台後半でオープン。すぐに139円台へ浮上し、仲値にかけては139円台半ばまで水準を切り上げる。注目された日銀金融政策決定会合については当初は「据え置き」とのヘッドラインに当日高値となる141円台前半まで急騰するも、続いて「10年利回り柔軟化」とのヘッドラインが出る。と138円台半ばまで急落。一段と下落し138円台前半まで下げる局面も見られたが、その後反転し139円台前半で海外へ渡った。アジア通貨は全般的に底堅い推移。前日海外時間に公表された米第2四半期GDPの良好な結果を受けドル買いが強まる展開となりアジア通貨の多くは対ドルで下落する展開となった。

海外市場のドル円は139円台前半でNYオープン。NY時間朝方に発表された米第2四半期雇用コスト指数や6月PCEコアデフレーター(前年比)は予想を下回り、発表直後は売りで反応するも、米金利上昇がサポートとなり、下げ幅は限定的。その後じり高で推移し、140円台後半まで値を上げる。NY時間午後米円売りが優勢の中、底堅い推移が続き、141円台前半まで上げ幅を拡大し、そのままクロス。

【金利】

金利市場は前日終値比ではほぼハラルに金利低下。NY時間朝方発表された指標で、FEDが注目する6月PCEコアデフレーターが前年比で低下するなどインフレ鈍化を示唆する結果となったことから、発表後金利は低下。その後は売り戻される場面もあったものの、シカゴ大消費信頼感指数も弱めだったことから、引けにかけては再度金利低下となった。

【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。注目された日銀金融政策決定会合についてはYCCの運用柔軟化が報じられ、直後こそ円高で反応したものの、すぐに発表後の下げ幅を戻す展開となっている。今回の変更が市場に与える影響は見極める必要がありそうだが、発表後の円高は一服しており、先週後半以降米金利が上昇基調で推移していることも併せて考えると円高は底堅い推移を予想する。

【本日の予定】

(日本) 6月 住宅着工戸数 / 住宅着工件数
(日本) 6月 鉱工業生産(速) / 小売売上高 / 百貨店・スーパー売上高
(日本) 7月 消費者態度指数
(アジア) 6月 インド インフラ産業8業種
(アジア) 6月 インド 財政赤字
(アジア) 6月 シンガポール 国外居住者預金・残高
(アジア) 6月 タイ 国際収支
(アジア) 6月 豪 民間部門信用
(アジア) 7月 中国 製造業PMI / 非製造業PMI
(欧州) 2Q ユーロ圏 GDP
(米国) 7月 ダラス連銀製造業活動

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。